

2012 年度第 1 四半期決算報告書

参考和訳

プレスリリース
2012 年 5 月 4 日、パリ発

リテール・バンキング国内市場：事業活動は成長を継続

預金残高：前年同期末比 +3.6%； 融資残高：前年同期末比 +2.9%

キャピタル・マーケット部門は粘り強さを発揮

営業収益：前年同期比 -4.0%

リスク費用は景気減速を受けても安定的

リスク費用：9 億 4500 万ユーロ（前年同期比 +2.8%）

利益創出能力は健在

特別損益項目を除く株主帰属純利益：20 億 3800 万ユーロ（前年同期比 -22.1%）

株主帰属純利益：28 億 6700 万ユーロ（前年同期比 +9.6%）

当四半期の主な特別損益（税引前）：

- 自己負債の再評価：-8 億ユーロ
- クレピエール S.A.（傘下の不動産会社）の 28.7%持分の売却による譲渡益：+18 億ユーロ

実行中の事業適応計画の相当部分が完了

目標の 80%を既に達成済み

（注：目標は、バーゼル 3 基準に基づくエクイティ TIER 1 比率の 100 bp 増）

自己資本比率を一層強化

	12 年 3 月 31 日	11 年 12 月 31 日
TIER 1 比率（バーゼル 2.5）	12.2%	11.6%
エクイティ TIER 1 比率（バーゼル 2.5）	10.4%	9.6%



2012年5月3日にBNPパリバ取締役会が開催され、ボードゥアン・プロ会長が議長を務めるなか、当グループの2012年度第1四半期の業績が検討されました。

グループの事業適応計画実施中も良好な業績を収める

ユーロ圏の景気減速を受けながらも、BNPパリバ・グループは、事業適応計画を速やかに実施しながら、良好な業績を収めました。エクイティ Tier 1 比率を 100 ベースポイント (bp) 改善させるという目標の 80% が既に達成されています。

当四半期の営業収益は 98 億 8600 万ユーロに上り、前年同期比 15.4% の減少でした。これは 3 つの特別要因が重なり、営業収益に対して合計 10 億 5900 万ユーロの圧迫要因となったためです。すなわち、自己負債の再評価 (-8 億 4300 万ユーロ)、およびソブリン債売却による損失 (-1 億 4200 万ユーロ)、ならびに融資債権売却による損失 (-7400 万ユーロ) です。これらの項目を除くと、営業収益は 109 億 4500 万ユーロに上り、これは業務活動が活況を呈した 2011 年度第 1 四半期から 6.3% の減少にとどまります。

営業費用は 68 億 4700 万ユーロとなり、前年同期比 +1.8% と、若干の増加でした。コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業およびパーソナル・ファイナンス部門で計上された合計 8400 万ユーロに上る適応計画の一時費用を除けば、営業費用は前年同期比 +0.5% と微増にとどまり、コスト抑制効果が確認されました。

当四半期の営業総利益は前年同期比 38.7% 減少し、30 億 3900 万ユーロとなりました。特別項目を除けば、減少幅は 15.6% にとどまります。

リスク費用は 9 億 4500 万ユーロとなり、2011 年度第 1 四半期からは +2.8% と若干の増加でしたが、それでも融資残高の 55bp 相当と依然低い水準であり、リスク管理が功を奏していることを示しています。

営業外損益は 18 億 4400 万ユーロの利益となり、これにはクレピエールに対するグループの 28.7% 持分の売却による特別利益 17 億 9000 万ユーロが大きく貢献しました。今回の売却は、バーゼル 3 への準拠に先立ち、BNPパリバの財務体質を適応させる計画の一環として行われたものです。

当四半期において BNPパリバの株主帰属純利益は 28 億 6700 万ユーロに上り、前年同期比 9.6% の増加を果たしました。クレピエールの持分譲渡益にかかわるキャピタルゲイン課税の税率が低いため、全体的な法人税率は 24% に収まりました。この影響を除くと、法人税率は 30.9% となります。

これらの特別項目について調整すると、当四半期の株主帰属純利益は 20 億 3800 万ユーロとなり、前年同期比 22.1% の減少でした。

以上の好業績と適応計画の速やかな実施が貢献し、グループの自己資本はさらに強化されました。バーゼル 2.5 (資本要求指令 3 : CRD 3) に基づくエクイティ Tier 1 比率は、当四半期末現在 10.4% となり、2011 年 12 月 31 日の水準より 80bp 増加しました。

*
* *



リテール・バンキング事業

国内市場部門

国内市場部門による顧客サポートへの厚い努力は、当四半期の業務活動の好調さに反映されています。預金残高は当四半期末において、前年同期末比 3.6%増加しましたが、これは成長への弛まぬ努力に支えられました。また、零細企業および中小企業向け支援を各々の国内市場で展開したことにより、需要の低下傾向にもかかわらずグループの融資残高は、前年同期末比 2.9%増加しました。

営業収益¹は 40 億 2300 万ユーロに上り、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、前年同期比 0.8%の増加となりました。営業費用¹は、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、前年同期比 0.7%減少し 24 億 4100 万ユーロとなりました。よって、部門全体にわたるコスト管理努力が奏功し、1.5 ポイントの正のジョーズ効果が得られました。

プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を、国内市場部門から資産運用および証券管理事業へ配分した後の税引前利益²は、11億7500万ユーロと依然として高水準を維持し、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、前年同期比0.5%の増加でした。

フランス国内リテール・バンキング (FRB)

フランス国内リテール・バンキング (FRB) 部門においては、当四半期も引き続き実体経済への資金供給を積極的に行いました。フランス国内ネットワークの職員による、顧客の資金ニーズへの献身的なサポートのおかげで、当四半期末における融資残高は前年同期末比 5.0%増加しました。法人向け融資の高い伸びが、その原動力となりました。FRB は、スモール・ビジネス・センターの運用開始で成功を収め、零細企業および中小企業の支援において特別な努力を払いました。預金残高は 3.5%増加しましたが、これにはとりわけ普通預金の高い伸び (+9.8%) が寄与しました。インターネット・モバイル・サービスは、毎月の利用者の増加が 50 万人を超え、増々好調に推移しており、2011 年 3 月末からは 73%の増加となっております。

当四半期の営業収益³は 18 億 1300 万ユーロに上り、前年同期比 0.3%増加しました。貯蓄の上昇も一部寄与し、純利息収入の増加 (+3.0%) が、金融市場の低迷による手数料収入の減少 (-3.6%) を上回ったことによるものです。

当四半期も継続して実施したサポート機能の合理化が奏功し、営業費用³が前年同期から 0.8%減少したため、FRB の当四半期営業総利益³の 2.0%増加に貢献し、さらに当四半期の営業収益対コスト比率³は 0.7 ポイント改善し 60.1%となりました。

リスク費用³は前年同期から 400 万ユーロ増加しましたが、それでも融資残高の 22 ベーシスポイントで、比較的低い水準にとどまりました。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を、資産運用および証券管理事業へ配分した後、FRBの税引前利益² 6億500万ユーロは、前年同期比1.5%の増加となりました。

¹ フランス国内プライベート・バンキング (PEL/CEL の影響を除く)、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの 100%を含む。

² PEL/CEL の影響を除く

³ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



BNL バンカ・コメルシアール (BNL bc)

BNL バンカ・コメルシアールは、困難な市場環境にあって健闘しました。融資残高は、業界平均と同様、前年同期比 0.2%の伸びでしたが、その背景には融資需要の低下傾向があり、特に住宅ローンが低迷しました。預金残高は、(前年同期のベースが低かったことでもあります) 法人顧客および地方行政機関の動向に支えられ、1.6%増加しました。また、個人の当座預金の減少は、業界平均よりも緩やかでした。

当四半期の営業収益¹は、前年同期比 2.3%増加し、8 億 1600 万ユーロに上りました。法人および小規模事業者向け融資の増加が特に貢献し、また利鞘水準も維持できたおかげで、純利息収入が増加し(+4.5%)、これが個人顧客向け新規貸出の低迷に起因する手数料収入の減少(-1.9%)を相殺して有り余るものとなりました。

コスト管理努力が奏功し、営業費用¹が前年同期比で減少(-0.5%)したことにより、当部門の営業総利益は¹ 5.6%増加しました。また、当四半期の営業収益対コスト比率¹の 1.4 ポイント改善にも貢献し、同比率の 54.2%は、業界最優良水準に入りました。

リスク費用¹は一定幅で増加し、融資残高の 106 ベーシスポイントとなりました(前年同期から 2100 万ユーロの増加)。イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BNL バンカ・コメルシアールの税引前利益は 1 億 5000 万ユーロとなり、前年同期比 1.3%減少しました。

ベルギー国内リテール・バンキング (BRB)

ベルギー国内リテール・バンキング (BRB) 部門は、引き続き実体経済への資金供給において積極的な役割を果たしました。融資残高は、前年同期末比 6.4%増加しました(2011 年度第 4 四半期に実施したフォルティス・コマーシャル・ファイナンスの買収による影響を除くと+5.0%)。このような増加は、住宅ローンや小規模事業を営む個人顧客への貸出が高い伸びを示したことに加え、中小法人に対する貸出も伸びたことによるものです。預金残高も順調に伸び(前年同期末比+3.3%)、とりわけ当座預金および定期預金が貢献しました。

当四半期の営業収益²は、前年同期比 3.4%増加し、8 億 4100 万ユーロに上りました。不利な市場環境にあり個人顧客からの手数料収入が減少したにもかかわらず、取引高の確かな伸びによる純利息収入の増加やフォルティス・コマーシャル・ファイナンスの買収が、収益を押し上げました。

業務効率向上への取組みの効果により、営業費用²は前年同期比+0.7%と微増にとどまり、5 億 9400 万ユーロとなりました。その結果、BRB の営業総利益は 10.8%の増加²を果たしました。営業収益対コスト比率²は前年同期比 2 ポイント改善し、70.6%へと低下しました。

リスク費用²は融資残高の 18 ベーシスポイントとなり、並外れて低い水準を記録した前年同期からは 1500 万ユーロ増加しましたが、それでも比較的低い水準にとどまりました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BRB の税引前利益は 2 億 100 万ユーロに上り、前年同期比 9.2%増加しました。

¹ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

² ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



ルクセンブルク国内リテール・バンキング：当四半期末の融資残高は、前年同期末比で若干減少しました（-0.5%）。預金残高は、当座預金の好調により、+4.3%と順調に伸びました。商業銀行業務は、国内プライベート・バンキングおよびマルチチャネル・バンキングの導入により、商品ラインの魅力が高まりました。

個人投資家部門：当四半期末の運用資産額は、資金の純流入により、前年同期末比 3.2%増加しました。オンライン仲介業務は、特に活況を呈した前年同期との比較では振るいませんでした。

アルバル：当部門は、フィンランド子会社設立を通して北欧での事業展開を進めるとともに、ブラジル、インドおよびトルコにおいてリース・フリートの高い伸びを達成しました。全体的に、リース車両は前年同期末比で 2.8%増加し、68 万 6 千台に上りました。アルバルの営業収益は当四半期において、2011 年 12 月に実施した英国の燃料カード事業の売却および中古車相場の下落による影響を受けました。

リーシング・ソリューション：当四半期末においてリース資産残高は、適応計画の影響を受け、前年同期末比で 9.6%減少しました。ただし、取引の収益性を重視して選択する方針のおかげで、残高減少がリーシング・ソリューション部門の営業収益に及ぼした影響は限定的でした。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、これら 4 つのビジネスユニットは、国内市場部門の税引前利益に対して合計 2 億 1900 万ユーロ（前年同期比 8.8%の減益）の貢献をしました。

*
* *

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門では、当四半期、営業およびマーケティング活動が高まりました。預金残高が 12.8%¹ の伸びを達成し、ほとんどの国において高い伸びを示しましたが、とりわけトルコが順調でした。融資残高は 7.5%¹ 増加し、トルコが引き続き健闘した一方、ウクライナは当四半期も減少しました（-27.7%¹）。

営業収益は 0.2%¹ の伸びにとどまりました。ウクライナでの融資残高の減少に合わせて同国での営業収益が減少したことが特に影響しましたが、トルコでの 8.4%¹ の増収により相殺されました。ウクライナの影響を除くと、営業収益は前年同期比 6.5%¹ 増加しました。

営業費用は、前年同期比 4.1%¹ 増加しました。地中海地域で支店開設を継続したことがその一因となっていますが、なかでもモロッコが活発でした（当四半期は 12 支店を開設）。一方、トルコでは営業費用が 0.7%¹ 減少しており、これにはネットワークの合理化が寄与しました（2011 年度に 95 支店を閉鎖）。

リスク費用は 9000 万ユーロに上り、融資残高の 150 ベーシスポイントとなりました。これは依然として高水準にあるものの、前年同期からは 1300 万ユーロの削減となっております。以上から、欧州・地中海沿岸諸国部門は、当四半期、2600 万ユーロの税引前利益を上げ、前年同期比 62.5% 増と、大きく躍進しました。

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



バンクウェスト

米国景気の復調を受け、バンクウェストは好業績を収めました。融資残高は当四半期末、1.9%¹増加しました。これは、家計が債務削減を図り住宅ローンが引き続き減少し、また連邦住宅抵当公庫（ファニーメイ）に対して担保適格融資を売却したにもかかわらず、その一方で法人向け融資が回復（+11.4%¹）したことによるものです。預金残高は、当座預金の高い伸びに押されて12.0%¹増加しました。

ただし営業収益の伸びは、規制変更が手数料収入の圧迫要因となり、前年同期比 0.3%¹増にとどまりました。

営業費用は、前年同期比 4.3%¹増加しました。これにはプライベート・バンキング業務の強化に加え、法人および小規模事業者を対象とした営業およびマーケティング要員の強化にかかわる費用が原因となりました。

リスク費用は当四半期も低下を続け、融資残高の 46 ベーシスポイントへと改善しました（前年同期からは 2900 万ユーロの減少）。

以上から、バンクウェストは当四半期において 2 億 600 万ユーロの税引前利益を計上し、前年同期比 10.8%¹の増加となりました。

パーソナル・ファイナンス

厳しい市場環境にもかかわらず、パーソナル・ファイナンス部門は確かな利益創出能力を維持しました。

消費者ローン残高は、前年同期末から 1.3%増加しました。これにはドイツにおけるコメルツ銀行とのパートナーシップの成功、ベルギーでは BNP パリバ・フォルティスとのクロスセリングによる高い伸び、ロシアにおいては順調な事業展開などが貢献しましたが、その一方で、フランスでは新規規制の導入が影響し残高が 4.0%減少しました。住宅ローンに関しては、適応計画の実施がローン残高の伸びを止めてしまう結果をもたらしたため、残高は前年同期末比で 0.7%減少しました。これらの複合効果や新規規制が利鞘に及ぼす影響から、当四半期の営業収益は前年同期比で 6.0%減少し、12 億 3100 万ユーロとなりました。

営業費用は 8.6%増加し、6 億 4200 万ユーロに上りました。とりわけ、適応費用（3000 万ユーロ）およびロシアでの事業開発費用が負担となりました。

リスク費用は抑制され、当四半期は 3 億 2700 万ユーロへと低下しました（前年同期からは 1 億 400 万ユーロの減少）。また、当四半期のリスク費用は消費者ローン残高の 145 ベーシスポイントとなり、これに対して前年同期は 196 ベーシスポイントでした（26%の改善）。

以上から、パーソナル・ファイナンス部門の税引前利益は 2 億 8600 万ユーロとなり、前年同期比 7.7%減少しました。

*
* *

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



資産運用および証券管理事業

当四半期において、資産運用および証券管理事業への純資金流入額は、126 億ユーロ¹に上りました。これには各業務部門が貢献しました。資産運用部門からは 78 億ユーロ：機関投資家によるマネーマーケットファンドへの投資が旺盛でした。プライベート・バンキング部門からは 27 億ユーロ：国内市場およびアジア地域が特に貢献しました。保険部門からは 11 億ユーロ：フランス、ルクセンブルクおよびアジア地域から高水準の資金流入がありました。さらに、個人投資家部門からは 4 億ユーロ、また不動産サービス部門からも 4 億ユーロの資金流入がありました。当四半期はユーロ高による為替レートからの悪影響があったにもかかわらず、資金流入および株式相場上昇のおかげで、運用資産額²は、2011 年 12 月 31 日現在の水準から+4.6%増加し、8810 億ユーロとなりました。

資産運用および証券管理事業の当四半期の営業収益は 15 億 2100 万ユーロに上り、前年同期から横ばいでした。富裕層向け資産運用部門からの営業収益は、2011 年度に資産運用部門の運用資産額が減少したために、9.1%の減収となりました。保険部門の営業収益は、運用資産の増加に加えフランス国外の保障保険事業の好調に支えられて、11.8%増加しました（イタリアの BNL ヴィタの連結子会社化による影響を除くと+5.6%）。証券管理業務部門の事業展開は各国において順調に推移したため、カストディ資産は 4.2%増、管理資産は 12.7%増となり、同部門の営業収益は前年同期比 6.6%増加しました。

資産運用および証券管理事業の営業費用は 10 億 4300 万ユーロとなり、前年同期比+0.1%の微増にとどまりました。これは、アジア地域を始め各地で事業開発投資が継続されているにもかかわらず、資産管理部門での適応計画の実施が功を奏したからです。当事業部門の営業総利益は 4 億 7800 万ユーロとなり、前年同期比-0.2%と若干の減少でした。

ギリシア国債の減損が収益に及ぼすマイナス影響は 1600 万ユーロに上り、そのほとんどは関連会社で計上されたものですが、当四半期の税引前利益は、国内市場部門のプライベート・バンキング業務から純利益の 3 分の 1 を配分した後、前年同期比で 9.2%減の 4 億 8300 万ユーロとなりました。これは、依然として困難な市場環境にあっても、資産運用および証券管理事業の良好な業績を反映しています。

*
* *

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業の営業収益は、当四半期は 31 億 2100 万ユーロに上り、前年同期比 11.0%減少しました。実行中の適応計画の下、ファイナンス業務部門が計上した貸付債権売却による損失（簿価 20 億ユーロの債権の売却³により 7400 万ユーロの売却損を計上、または簿価に対する平均 3.7%のディスカウント）を除けば、営業収益の減少は 8.8%にとどまります。

アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務部門からの営業収益は、2011 年度第 4 四半期との比較で大幅に回復し、また、業績が安定推移した前年同期からは 4.0%の減収にとどまりました。

¹ 個人投資家部門を含む。

² 個人投資家部門および外部顧客のためのアドバイザー契約資産を含む。

³ 2012 年 4 月に実施したリザーブ・ベスト・レンディング部門（鉱物資源担保融資業務）の売却を除く。



フィクスト・インカム業務部門の営業収益は 17 億 5700 万ユーロに上り、前年同期比 6.6%増加しました。これは、特にフロー商品における金利および為替業務の好業績と、新発債市場業務がかなり堅調に推移したことによるものです。当業務部門は、当四半期もユーロ建て全債券で第 1 位を再確認するとともに、2011 年に確保した 米ドル建て全グローバル債券での市場シェアを維持し第 10 位を占めました。これらとは別に、エネルギーおよびコモディティ・デリバティブ部門も顧客業務が順調に推移し、とりわけ石油および天然ガスが健闘しました。

株式およびアドバイザー業務部門の営業収益は、前年同期比では 29.2%の減少でしたが、2011 年度第 4 四半期からは 21.2%の回復を果たしました。これは株式市場が活気を欠くなか、フロー業務が粘り強さを発揮したおかげです。ストラクチャード商品が占めるシェアは、顧客需要が低迷したため、2011 年度から低下しました。

ファイナンス業務部門は、同業務に対する新たなアプローチの一環として現在はコーポレートバンキングと改まっていますが、当業務部門からの営業収益は、前年同期比 25.0%減少し 8 億 7200 万ユーロとなりました。非経常的要因である融資債権の売却による影響を除くと、営業収益は、融資残高の縮小方針から 18.6%の減少となりました。当業務部門は引き続きアドバイザー業務およびストラクチャード商品の開発を推し進めるとともに、フィクスト・インカム業務部門との協力を高め、オリジネーション業務の一部として販売網が取り込まれるよう照準をあわせることとしました。この新たなアプローチと関連して、他にも意欲的な計画が発足しており、ここではプロアクティブかつターゲット顧客を見据えたアプローチで預金基盤を築いて行きます。とりわけ、BNP パリバが世界第 5 位の地位を確立しているキャッシュ・マネジメント業務のグローバル・プラットフォームに関しては、CIB とリテール・バンキングの両事業部門の商品を同時活用して開発して行きます。

CIB の当四半期の営業費用は 18 億 9200 万ユーロとなり、前年同期比 3.7%増加しました。事業適応計画にかかわる費用（5400 万ユーロ）を除くと、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除いた営業費用は、前年同期比 1.7%の減少でした。営業収益対コスト比率は 60.6%となり（適応計画の影響を除けば 57.5%）、業界でも最良の水準を維持できました。

CIB のリスク費用は引き続き低水準にとどまり、7800 万ユーロとなりましたが、これは例外的に低い水準であった前年同期からは 6200 万ユーロの増加でした。コーポレートバンキング部門では、リスク費用は融資残高の 33 ベーシスポイントとなりました。

CIB の当四半期の税引前利益は 11 億 6700 万ユーロに上り、前年同期比で 30.5%減少しました。適応計画の影響を除けば、税引前利益は 12 億 9500 万ユーロで前年同期比 22.8%の減少となります。これは、レバレッジ削減の影響にもかかわらず CIB が健闘したことを反映しており、ひいては CIB フランチャイズの多様性と質の高さを明らかにするものです。

*
* *

コーポレート・センター

コーポレート・センターは前年同期に 4 億 7100 万ユーロの営業収益を計上しましたが、以下の要因を反映した結果、当四半期には 8 億 8300 万ユーロの損失を計上しました。すなわち、自己負債の再評価により 8 億 4300 万ユーロの損失（前年同期は僅少の影響）、銀行勘定においてフォルティスにかかわる取得原価配分法（PPA）に基づく償却額で 1 億 8400 万ユーロの収益（前年同期の計上額は 2 億 300 万ユーロの収益）、ソブリン債売却で 1 億 4200 万ユーロの損失、さらに、劣



後ハイブリッド・エクイティ・リンク債（CASHES）の転換による影響が 6800 万ユーロのマイナス要因となっています。

当四半期の営業費用は 2 億 2200 万ユーロに上り、これに対して前年同期は 2 億 4100 万ユーロでした。営業費用には事業再編費用の 6500 万ユーロが含まれています（前年同期は 1 億 2400 万ユーロ）。

当四半期のリスク費用には、前年度中に計上されたギリシア国債減損の残留効果である 5400 万ユーロが含まれています。

当四半期の営業外項目の合計は 17 億 5200 万ユーロの利益となりました。その主な要因は、クレピエールに対する当グループの 28.7%持分を売却して計上された、特別利益 17 億 9000 万ユーロでした。

当四半期の税引前利益は 6 億 1800 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 2 億 2500 万ユーロでした。

*
* *

流動性および資金調達

グループの流動性の状況は極めて良好でした。

グループのキャッシュ・バランスシートは、堅実な銀行業務の見地から作成されており、またデリバティブ、レボ、証券貸借取引、および未収・未払金勘定を相殺したネットベースで評価していますが、同バランスシートは2012年3月31日現在、9850億ユーロに上りました。株主資本、顧客預金および中長期資金の合計額は、顧客業務からの資金需要および有形・無形資産の合計額との比較で、510億ユーロの安定した余剰資金となりました。かかる超過額は、2011年12月31日の水準を200億ユーロ上回るものです。

2012年4月末現在、CIBのリザーブ・ベスト・レンディング部門（鉱物資源担保融資業務）の譲渡取引が成立しており、CIBの米ドル建て資金需要を縮小させる計画（-650億ドル）は完了しています。

グループの即時利用可能な流動資産は、当四半期末で2010億ユーロに上り、2011年12月31日の水準から410億ユーロ増加しています。かかる金額は、短期資金のほぼ100%に相当します。

2012年度に予定されていた200億ユーロに上るグループの中長期債発行プログラムのうち、75%が既に完了しています。2011年11月から2012年4月中旬までの間に、150億ユーロの資金が調達されており、調達コストはミッドスワップに対して平均111bpの上乗せ、また償還期間の平均は6.1年となりました。

*
* *



自己資本比率

バーゼル 2.5 基準に基づくグループの自己資本比率は、2012 年 3 月 31 日現在、エクイティ Tier 1 比率で 10.4%を達成しました。当該比率には、2011 年末から施行された資本要求指令 3 (CRD3) による規制が含まれています。また欧州銀行監督機構 (EBA) は、欧州の銀行に対し CRD3 を満たした後、さらに自己資本比率の算定において保有する欧州ソブリン債の含み損 (BNP パリバの場合 40bp) を控除後、2012 年 6 月末までに 9%の自己資本比率達成を要求していますが、この目標値を大きく上回る結果となりました。

自己資本比率は 2011 年 12 月末以来 80 ベーシスポイント増加しており、これは主にリスク加重資産の圧縮と当四半期中の事業成長を通じた資本の強化によるものです。クレピエールに対する持分の売却は、これに対応して少数株主持分も低下するため、その影響はバーゼル 2.5 定義によると軽微にとどまります。ただし、バーゼル 3 定義の下では、当該売却により自己資本比率に+32 ベーシスポイントの貢献が見込まれます。

グループのエクイティ Tier 1 資本は、2012 年 3 月 31 日現在、601 億ユーロに上り、2011 年 12 月 31 日からは 12 億ユーロ増加しました。リスク加重資産¹ は 5760 億ユーロとなり、2011 年 12 月 31 日からは 380 億ユーロ減少しました。これは主に、バランスシートを適応させる計画によるものですが、それによりリスク加重資産が 160 億ユーロ圧縮され、また、特に市場リスクの低下により追加で 160 億ユーロが圧縮されました。

バーゼル 2.5 定義のエクイティ Tier 1 比率が 2012 年 3 月 31 日現在で 10.4%であったことを考慮すると、2013 年 1 月 1 日時点での 9%目標は、経過措置なしで全ての CRD4 規則を考慮しても (バーゼル 3 全面適用)、達成可能なはずですが。これには以下の事項が合わせて考慮されています：保有欧州ソブリン債に関する EBA 規則の延長として従来の-40bp 控除を適用；現時点で BNP パリバが想定するその他の CRD4 規則による影響は-180bp²；既に調印済みの売却契約 (米国のリザーブ・ベスト・リーシング部門の事業譲渡およびクレピエールに対する 28.7%持分の譲渡) の効果が今後反映されることにより+37bp の貢献；レバレッジ削減計画の残部達成により+20bp の追加；株式配当により期待される効果は+20 bp³；さらに、先述の前提を考慮すると事業成長による自己資本の創出効果が+3 bp⁴ 程度と予想されます。

*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は、次のように述べています。

「当四半期において、BNP パリバ・グループは、国内市場部門の業務が拡大するとともにキャピタル・マーケット部門の健闘を受けて、全体として好業績を収めました。

全従業員の献身のおかげで、特に CIB 部門の貢献により、事業適応計画は現在までに相当部分が完了しています。自己資本比率は強化され、バランスシートの圧縮が進み、さらに、2013 年 1 月

¹ バーゼル 2.5

² CRD4 については現在も欧州議会で審議中であるため、その指令内容は解釈に依存するところがあり、また今後修正される可能性もある。

³ 2011 年度および 2012 年度に関わる配当の平均 50%が株式配当によることを前提とする。

⁴ 25%配当性向を前提とする。



1日にバーゼル3全面適用の9%目標が満たされることによって、BNPパリバは、世界をリードするグローバル銀行グループの中で、最も強固な自己資本基盤を誇る銀行のひとつとなるでしょう。

したがって、BNPパリバ・グループでは、銀行改革の幕開けにおいて出現する新たな経済および規制環境のなかで、顧客に対してサービスを提供するための態勢が十分整っています。」



連結損益計算書

	1Q12	1Q11	1Q12 / 1Q11	4Q11	1Q12/ 4Q11
(単位：百万ユーロ)					
営業収益	9,886	11,685	-15.4%	9,686	+2.1%
営業費用および減価償却費	-6,847	-6,728	+1.8%	-6,678	+2.5%
営業総利益	3,039	4,957	-38.7%	3,008	+1.0%
リスク費用	-945	-919	+2.8%	-1,518	-37.7%
営業利益	2,094	4,038	-48.1%	1,490	+40.5%
関連会社損益	154	95	+62.1%	-37	n.s.
その他営業外項目	1,690	-24	n.s.	-127	n.s.
営業外損益	1,844	71	n.s.	-164	n.s.
税引前利益	3,938	4,109	-4.2%	1,326	n.s.
法人税	-927	-1,175	-21.1%	-386	n.s.
少数株主帰属純利益	-144	-318	-54.7%	-175	-17.7%
株主帰属純利益	2,867	2,616	+9.6%	765	n.s.
営業収益対コスト比率	69.3%	57.6%	+11.7 pt	68.9%	+0.4 pt

BNP パリバの 2012 年度第 1 四半期にかかわる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2012 年度第 1 四半期 - コア事業部門別業績

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位: 百万ユーロ)						
営業収益	6,127	1,521	3,121	10,769	-883	9,886
対前年同期比	-1.0%	+0.0%	-11.0%	-4.0%	n.s.	-15.4%
対前四半期比	+2.0%	+8.2%	+85.2%	+18.4%	n.s.	+2.1%
営業費用および減価償却費	-3,690	-1,043	-1,892	-6,625	-222	-6,847
対前年同期比	+1.9%	+0.1%	+3.7%	+2.1%	-7.9%	+1.8%
対前四半期比	-4.8%	-8.0%	+20.6%	+0.7%	n.s.	+2.5%
営業総利益	2,437	478	1,229	4,144	-1,105	3,039
対前年同期比	-5.1%	-0.2%	-26.9%	-12.3%	n.s.	-38.7%
対前四半期比	+14.5%	+75.7%	n.s.	+64.7%	n.s.	+1.0%
リスク費用	-827	-11	-78	-916	-29	-945
対前年同期比	-11.6%	n.s.	n.s.	-3.3%	n.s.	+2.8%
対前四半期比	-9.7%	n.s.	+8.3%	-7.0%	-94.6%	-37.7%
営業利益	1,610	467	1,151	3,228	-1,134	2,094
対前年同期比	-1.3%	-3.5%	-30.9%	-14.6%	n.s.	-48.1%
対前四半期比	+32.8%	+69.8%	n.s.	n.s.	n.s.	+40.5%
関連会社損益	55	9	14	78	76	154
その他営業外項目	5	7	2	14	1,676	1,690
税引前利益	1,670	483	1,167	3,320	618	3,938
対前年同期比	-0.2%	-9.2%	-30.5%	-14.5%	n.s.	-4.2%
対前四半期比	+27.6%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位: 百万ユーロ)						
営業収益	6,127	1,521	3,121	10,769	-883	9,886
前年同期	6,188	1,521	3,505	11,214	471	11,685
前四半期	6,006	1,406	1,685	9,097	589	9,686
営業費用および減価償却費	-3,690	-1,043	-1,892	-6,625	-222	-6,847
前年同期	-3,621	-1,042	-1,824	-6,487	-241	-6,728
前四半期	-3,878	-1,134	-1,569	-6,581	-97	-6,678
営業総利益	2,437	478	1,229	4,144	-1,105	3,039
前年同期	2,567	479	1,681	4,727	230	4,957
前四半期	2,128	272	116	2,516	492	3,008
リスク費用	-827	-11	-78	-916	-29	-945
前年同期	-936	5	-16	-947	28	-919
前四半期	-916	3	-72	-985	-533	-1,518
営業利益	1,610	467	1,151	3,228	-1,134	2,094
前年同期	1,631	484	1,665	3,780	258	4,038
前四半期	1,212	275	44	1,531	-41	1,490
関連会社損益	55	9	14	78	76	154
前年同期	44	35	10	89	6	95
前四半期	36	-50	1	-13	-24	-37
その他営業外項目	5	7	2	14	1,676	1,690
前年同期	-1	13	3	15	-39	-24
前四半期	61	-19	1	43	-170	-127
税引前利益	1,670	483	1,167	3,320	618	3,938
前年同期	1,674	532	1,678	3,884	225	4,109
前四半期	1,309	206	46	1,561	-235	1,326
法人税						-927
少数株主帰属純利益						-144
株主帰属純利益						2,867



四半期決算

(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
グループ事業					
営業収益	9,886	9,686	10,032	10,981	11,685
営業費用および減価償却費	-6,847	-6,678	-6,108	-6,602	-6,728
営業総利益	3,039	3,008	3,924	4,379	4,957
リスク費用	-945	-1,518	-3,010	-1,350	-919
営業利益	2,094	1,490	914	3,029	4,038
関連会社損益	154	-37	-20	42	95
その他営業外項目	1,690	-127	54	197	-24
税引前利益	3,938	1,326	948	3,268	4,109
法人税	-927	-386	-240	-956	-1,175
少数株主帰属純利益	-144	-175	-167	-184	-318
株主帰属純利益	2,867	765	541	2,128	2,616
営業収益対コスト比率	69.3%	68.9%	60.9%	60.1%	57.6%



(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
リテール・バンキング (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む*)	PEL/CCELの影響を除く				
営業収益	6,260	6,132	6,143	6,230	6,301
営業費用および減価償却費	-3,743	-3,932	-3,766	-3,726	-3,674
営業総利益	2,517	2,200	2,377	2,504	2,627
リスク費用	-827	-918	-845	-869	-936
営業利益	1,690	1,282	1,532	1,635	1,691
営業外損益	60	97	83	40	43
税引前利益	1,750	1,379	1,615	1,675	1,734
資産運用および証券管理事業帰属利益	-57	-46	-45	-57	-58
リテール・バンキング税引前利益	1,693	1,333	1,570	1,618	1,676
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	34.0	32.9	32.9	32.7	32.8

(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
リテール・バンキング (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	6,127	6,006	6,045	6,122	6,188
営業費用および減価償却費	-3,690	-3,878	-3,710	-3,669	-3,621
営業総利益	2,437	2,128	2,335	2,453	2,567
リスク費用	-827	-916	-844	-869	-936
営業利益	1,610	1,212	1,491	1,584	1,631
営業外損益	60	97	82	40	43
税引前利益	1,670	1,309	1,573	1,624	1,674
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	34.0	32.9	32.9	32.7	32.8

(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
国内市場 (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む*)	PEL/CCELの影響を除く				
営業収益	4,023	3,885	3,932	3,970	4,008
営業費用および減価償却費	-2,441	-2,642	-2,554	-2,503	-2,461
営業総利益	1,582	1,243	1,378	1,467	1,547
リスク費用	-364	-380	-344	-354	-327
営業利益	1,218	863	1,034	1,113	1,220
関連会社損益	11	-4	9	3	12
その他営業外項目	3	5	2	7	-2
税引前利益	1,232	864	1,045	1,123	1,230
資産運用および証券管理事業帰属利益	-57	-46	-45	-57	-58
国内市場税引前利益	1,175	818	1,000	1,066	1,172
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	21.5	21.0	20.9	20.7	20.6

(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
国内市場 (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	3,890	3,759	3,834	3,862	3,895
営業費用および減価償却費	-2,388	-2,588	-2,498	-2,446	-2,408
営業総利益	1,502	1,171	1,336	1,416	1,487
リスク費用	-364	-378	-343	-354	-327
営業利益	1,138	793	993	1,062	1,160
関連会社損益	11	-4	8	3	12
その他営業外項目	3	5	2	7	-2
税引前利益	1,152	794	1,003	1,072	1,170
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	21.5	21.0	20.9	20.7	20.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む*)					
営業収益	1,790	1,673	1,751	1,790	1,806
うち受取利息純額	1,071	989	1,046	1,054	1,060
うち手数料	719	684	705	736	746
営業費用および減価償却費	-1,090	-1,190	-1,168	-1,116	-1,099
営業総利益	700	483	583	674	707
リスク費用	-84	-85	-69	-81	-80
営業利益	616	398	514	593	627
営業外損益	0	1	1	0	1
税引前利益	616	399	515	593	628
資産運用および証券管理事業帰属利益	-34	-28	-28	-34	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	582	371	487	559	594
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	7.9	7.6	7.6	7.4	7.3

(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
PEL/CEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む*)					
営業収益	1,813	1,697	1,748	1,784	1,808
うち受取利息純額	1,094	1,013	1,043	1,048	1,062
うち手数料	719	684	705	736	746
営業費用および減価償却費	-1,090	-1,190	-1,168	-1,116	-1,099
営業総利益	723	507	580	668	709
リスク費用	-84	-85	-69	-81	-80
営業利益	639	422	511	587	629
営業外損益	0	1	1	0	1
税引前利益	639	423	512	587	630
資産運用および証券管理事業帰属利益	-34	-28	-28	-34	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	605	395	484	553	596
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	7.9	7.6	7.6	7.4	7.3

(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの 2/3 を含む)					
営業収益	1,730	1,618	1,695	1,728	1,745
営業費用および減価償却費	-1,064	-1,163	-1,139	-1,088	-1,072
営業総利益	666	455	556	640	673
リスク費用	-84	-85	-69	-81	-80
営業利益	582	370	487	559	593
営業外損益	0	1	0	0	1
税引前利益	582	371	487	559	594
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	7.9	7.6	7.6	7.4	7.3

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の 100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む*)					
営業収益	816	811	796	797	798
営業費用および減価償却費	-442	-489	-444	-452	-444
営業総利益	374	322	352	345	354
リスク費用	-219	-203	-198	-196	-198
営業利益	155	119	154	149	156
営業外損益	0	0	0	0	0
税引前利益	155	119	154	149	156
資産運用および証券管理事業帰属利益	-5	-2	-3	-5	-4
BNL bc 税引前利益	150	117	151	144	152
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	6.4	6.4	6.4	6.3	6.3

(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの 2/3 を含む*)					
営業収益	805	801	787	786	789
営業費用および減価償却費	-436	-483	-438	-446	-439
営業総利益	369	318	349	340	350
リスク費用	-219	-201	-198	-196	-198
営業利益	150	117	151	144	152
営業外損益	0	0	0	0	0
税引前利益	150	117	151	144	152
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	6.4	6.4	6.4	6.3	6.3

(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
ベルギー国内リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む*)					
営業収益	841	820	809	796	813
営業費用および減価償却費	-594	-612	-599	-601	-590
営業総利益	247	208	210	195	223
リスク費用	-37	-36	-26	-53	-22
営業利益	210	172	184	142	201
関連会社損益	5	1	2	2	2
その他営業外項目	3	-1	4	2	0
税引前利益	218	172	190	146	203
資産運用および証券管理事業帰属利益	-17	-15	-13	-17	-19
ベルギー国内リテール・バンキング税引前利益	201	157	177	129	184
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
ベルギー国内リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 2/3 を含む*)					
営業収益	804	785	775	758	774
営業費用および減価償却費	-574	-592	-579	-580	-570
営業総利益	230	193	196	178	204
リスク費用	-37	-36	-25	-53	-22
営業利益	193	157	171	125	182
関連会社損益	5	1	2	2	2
その他営業外項目	3	-1	4	2	0
税引前利益	201	157	177	129	184
配賦資本 (十億ユーロ、年初来累計)	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の 100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
パーソナル・ファイナンス					
営業収益	1,231	1,272	1,250	1,310	1,310
営業費用および減価償却費	-642	-636	-580	-613	-591
営業総利益	589	636	670	697	719
リスク費用	-327	-412	-390	-406	-431
営業利益	262	224	280	291	288
関連会社損益	24	29	27	18	21
その他営業外項目	0	59	3	2	1
税引前利益	286	312	310	311	310
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	5.1	4.9	5.0	5.0	5.0
欧州・地中海沿岸諸国					
営業収益	413	422	401	399	417
営業費用および減価償却費	-318	-328	-333	-308	-308
営業総利益	95	94	68	91	109
リスク費用	-90	-70	-48	-47	-103
営業利益	5	24	20	44	6
関連会社損益	20	11	16	12	11
その他営業外項目	1	-2	25	-2	-1
税引前利益	26	33	61	54	16
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4
バンクウエスト					
営業収益	593	553	560	551	566
営業費用および減価償却費	-342	-326	-299	-302	-314
営業総利益	251	227	261	249	252
リスク費用	-46	-56	-63	-62	-75
営業利益	205	171	198	187	177
営業外損益	1	-1	1	0	1
税引前利益	206	170	199	187	178
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	4.0	3.8	3.7	3.8	3.9



(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
資産運用および証券管理					
営業収益	1,521	1,406	1,462	1,533	1,521
営業費用および減価償却費	-1,043	-1,134	-1,043	-1,039	-1,042
営業総利益	478	272	419	494	479
リスク費用	-11	3	-53	-19	5
営業利益	467	275	366	475	484
関連会社損益	9	-50	-111	-8	35
その他営業外項目	7	-19	-2	66	13
税引前利益	483	206	253	533	532
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	7.9	7.5	7.4	7.2	7.1
富裕層向け資産運用					
営業収益	706	725	714	741	777
営業費用および減価償却費	-520	-598	-539	-539	-544
営業総利益	186	127	175	202	233
リスク費用	-6	3	-5	0	8
営業利益	180	130	170	202	241
関連会社損益	7	5	15	5	8
その他営業外項目	5	-19	-2	66	16
税引前利益	192	116	183	273	265
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	1.9	1.7	1.7	1.7	1.6
保険					
営業収益	475	351	421	429	425
営業費用および減価償却費	-234	-243	-224	-223	-222
営業総利益	241	108	197	206	203
リスク費用	-5	-1	-48	-19	-3
営業利益	236	107	149	187	200
関連会社損益 Companies	1	-55	-125	-13	27
その他営業外項目	1	0	0	0	-3
税引前利益	238	52	24	174	224
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	5.5	5.3	5.2	5.1	5.0
証券管理					
営業収益	340	330	327	363	319
営業費用および減価償却費	-289	-293	-280	-277	-276
営業総利益	51	37	47	86	43
リスク費用	0	1	0	0	0
営業利益	51	38	47	86	43
営業外損益	2	0	-1	0	0
税引前利益	53	38	46	86	43
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5



(単位：百万ユーロ)	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
コーポレートバンキング・投資銀行					
営業収益	3,121	1,685	1,787	2,920	3,505
営業費用および減価償却費	-1,892	-1,569	-1,120	-1,613	-1,824
営業総利益	1,229	116	667	1,307	1,681
リスク費用	-78	-72	-10	23	-16
営業利益	1,151	44	657	1,330	1,665
関連会社損益	14	1	14	13	10
その他営業外項目	2	1	11	27	3
税引前利益	1,167	46	682	1,370	1,678
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	18.1	16.9	17.0	17.2	17.5
アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット					
営業収益	2,249	767	752	1,803	2,343
営業費用および減価償却費	-1,471	-1,153	-672	-1,163	-1,389
営業総利益	778	-386	80	640	954
リスク費用	37	33	-42	9	21
営業利益	815	-353	38	649	975
関連会社損益	9	1	7	9	0
その他営業外項目	2	0	5	8	0
税引前利益	826	-352	50	666	975
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	8.8	6.7	6.8	6.8	6.8
コーポレートバンキング					
営業収益	872	918	1,035	1,117	1,162
営業費用および減価償却費	-421	-416	-448	-450	-435
営業総利益	451	502	587	667	727
リスク費用	-115	-105	32	14	-37
営業利益	336	397	619	681	690
営業外損益	5	1	13	23	13
税引前利益	341	398	632	704	703
配賦資本（十億ユーロ、年初来累計）	9.3	10.1	10.2	10.4	10.7
コーポレート・センター（クレビエールを含む）					
営業収益	-883	589	738	406	471
営業費用および減価償却費	-222	-97	-235	-281	-241
うち事業再編費用	-65	-213	-118	-148	-124
営業総利益	-1,105	492	503	125	230
リスク費用	-29	-533	-2,103	-485	28
営業利益	-1,134	-41	-1,600	-360	258
関連会社損益	76	-24	26	4	6
その他営業外項目	1,676	-170	14	97	-39
税引前利益	618	-235	-1,560	-259	225



グループの事業適応計画実施中も良好な業績を収める.....2

リテール・バンキング事業.....3

国内市場部門.....3

資産運用および証券管理事業.....7

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業.....7

コーポレート・センター.....8

流動性および資金調達.....9

自己資本比率.....10

連結損益計算書.....12

2012 年度第 1 四半期 – コア事業部門別業績.....13

四半期決算.....14

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2012 年 4 月 18 日に、BNP パリバは、2011 年度の四半期決算に関わる修正を発表しました。かかる修正には、各事業部門に配賦される資本がリスク加重資産の 7%から 9%へと引き上げられた旨、および「国内市場」部門の創設、ならびに事業部門間の業務の移管が特に反映されています。これらの修正決算報告において、2011 年度に関わる数値は、あたかも取引が 2011 年 1 月 1 日に実行されたかのように表示されています。本プレゼンテーションは、修正された 2011 年度の四半期数値に基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関する情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。